

「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

2014年4月

55号



つるの おんがえし

丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、間もなく30年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします。

株式会社 感動・創庫
kando-soko

〒259-1106 伊勢原市善波 1219-1

TEL:0463-79-9777

http://kando-soko.com

発行編集責任者: 芦川永光

3月31日から、変わります!

伊勢原市板戸 208-103

☎0463-79-9777

FAX:0463-79-9778

暖かくなってきて
とっても嬉しい♪
寒いのが苦手な私です。
新しい事務所は
楽しみです。が、
やっぱり片付け、大変です!!
本当に全部終わるのか...
不安～でも、頑張るしか
ないですよええ。

2月でちゃっかり
6周年記念。という事で
スノーボードに
行ってきました。
仕事優先で我慢し続けた
うっぶんを爆発させました。
こけまくり、スジ痛めまくりで
したが、ホント来て良かった。
来年はヘリコプターを
チャーターだあ～!

事務所、引っ越します!

伊勢原市板戸 208-103
☎0463-79-9777

今の事務所は良い立地でしたが、いろいろありまして、出ます!

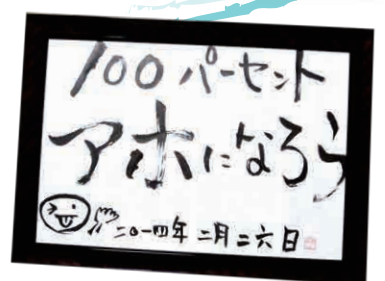
新事務所は伊勢原市板戸。駅から徒歩約20分の場所です。内装にこだわった喫茶店を、そのままの状態でお借りします。カウンター席もそのままなの



で、ここでお出しするコーヒーを名物にしたいなあ、なんて妄想しちゃってます。

ようやく看板付きオフィスを構えて、スピードアップの感動・創庫。ここからさらに、ググッと行きまっせ～!

ニュー感動・創庫のテーマは
「100%アホになろう」



離婚して、また結婚して、と「人生いろいろ」島倉千代子状態の私ですが、いまだに余計なプライドが悪さすること、多々あります。チラシづくりの場面では、「カッコつけちゃダメ」なんてお客さまには言うくせに、自分で文章を書く、「良く見られたい感」がいつの間にか出ちゃうんです。

先日、このことで妻に指摘をもらいました。「あなたの書く文章はつまらん!」とバツサリです。思えば創業当時の理念で、既にカッコつけていました。あれからもう6年。そろそろ安っぽい見栄なんぞ、捨てなきゃなりません。そこで考えました。もうカッコつけるのはやめよう。アホになるんだ!と。そこで、7年目の感動・創庫の宣言!

100%アホになります。

困難をワクワク感じる、ポジティブなアホ。無理! 出来っこない! と言われ、ますます燃えるアホ。恥を感じない、限界知らずのアホになります。さあ、これから3年後は売上1億円! アホだから行けず、必ず(笑)

心に響く感動の格言

ダメだった時もあるけどよ。

頑張ったと徐々に

這い上がれてきたわ。

Words by 武井 壮

筋肉タレント?の彼を見かけると、最後まで釘付けです。くさいセリフを恥ずかしげも無く言えちゃう真つすぐさが、とにかく好きです。人間は何度でも訪れる失敗をした時に、どれだけ立ち直れるかだと、最近は特に思います。頑張ればちよつとずつでも変わるだろう。そう聞き直って、前に進むのが一番ってことなんでしょうね。

思い出のスニーカーぶるーす

18歳浪人時代編

お引越は新しい始まりと同じ時に、思い出のお別れでもあります。このぼろぼろスニーカーは、私が1996年3月に買った、思い出の一足です。

20年くらい前、「エアマックス狩り」という事件が全国であったのはご存知でしょうか。その狩りのターゲットになったのが、このスニーカーです。日本国内で大ブームとなり、定価1万5千円が、発売1年後には10万円で売られることもありました。

初めての出会いは、横浜駅の地下街でした。まだブームになる前の梅雨の時期。定価の1万5千円で売っていました。手にとって「はあ〜カッコいい」。消費税3%時代だったので、15450円です。

お金を全く持っていない浪人生でしたが、友人が僕の原付バイクで事故を起こし、「パチンコに勝ったから払うね」とお詫びに2万円くれました(なめた奴です)。というところで好きに使っちゃおうとなり、バイク保険の値上がり分の差し引き、16500円を持って横浜に向かったんです。

「間違いない、これは運命だ!」

たまたま見かけた雑誌でビビビときた、あこがれの靴が目の前に! ニックニコでレジまで持って行き、財布を開けたら:「あれれ? ちよつと待て:」あるはずのお金がないんです。「帰りの電車賃を引いたら、これ買えないぞ?」もう頭がパニックです。

何があったのか、時間を巻き戻して思い出し、あ〜、やっちゃまった。雨が降ってきたので、コンビニで500円のビニール傘、買っちゃったんです。500円が足りず泣く泣くお店を出ることに。初めての出会いは、運命的出会い、のちに壮絶なお別れ劇となったのでした。

年が変わった3月。大学受験が無事に終わり、バイトをしまくって、ずっと思い続けたエアマックスを買いに買いました。8か月経ったこの頃は定価の2.4倍、35800円になっていました。でもやっとなら

見つけた運命の人。価格なんて全然気になりませんでした。

彼(彼女?)を履いて、いろんな場所に行きました。一緒にお風呂も入りました。人間のせつけんを使い、手でやさしく洗っていました。下宿先が千葉だったので、狩られる心配もせず、どこへでも履いて出かけました。学生時代の写真は、彼との写真がたくさんありました。

あれから19年。ゴム部分が劣化して、彼のスニーカーとしての役割は終わりました。数年前から履くことができず、箱にしまったままでした。どうしても捨てられずに残していましたが、今回の引越で、お別れます。

18歳の浪人時代の思い出。またあんな素敵な出会い、してみたいです。

